



議会だより

ハートがふれあう住民自治のまち



神河町
マスコット
キャラクター
「カーミン」

かみかわ

第 68 号

令和 3 年 7 月 7 日



猪篠地区 あじさいロード

第100回神河町議会記念講演会を開催	2
ワクチン接種 町長に申入書を提出	3
議案審議の様子	4 ~ 6
委員会の活動	6 ~ 9
3人が登壇 いっぱん質問	11 ~ 13

第100回神河町議会記念講演会を開催

「ポストコロナ 新時代に挑む！」

神河町議会は平成17年11月の合併後、令和3年3月議会で100回目を迎えました。これを記念し4月14日、井戸敏三兵庫県知事をお招きし、記念講演会を開催しました。コロナ禍のため、検温、手指消毒、座席数を減らすなどの感染防止対策、三密対策を行い、区長様や他町議会議員等150名の規模としました。



はじめに議長代理の澤田副議長から「これからのポストコロナ時代の流れに乗り遅れることなく、ピンチをチャンスに変え、活力ある未来を創ってきたい」と開会あいさつがありました。



井戸知事による記念講演では「ポストコロナ新時代に挑む！」と題して、コロナ禍の兵庫県や市町

の取組について説明いただきました。内容は新型コロナウイルスによりデジタル化が進みテレワーク、テレビ会議、GIGAスクール構想が前倒しされるなど生活様式が大きく変化した。しかし、高齢者にとってはボタン一つ押し間違えると申請手続きが進まない不便さがある、中小企業においてはICT投資が十分にできないなどの問題点がある。最後は人々の意識の問題で「いかに道具として使いこなせるか」との提起がありました。

またコロナ禍により「地方回帰の兆し」が見られ、兵庫県への移住者は前年比20.2%増加。令和3年2月現在の住民基本台帳異動報告によると24か月ぶりの転入超過(+175人)、東京都は社会増減で減になっ

たとの説明を受けました。終わりに井戸知事からは人と人のつながり、ふるさとを愛する心こそが「わが町の宝もの」、地域の実情を熟知している地元の方が次世代へ伝統をつなぐことが大切とお話いただきました。

この講演会を契機にさらに開かれた議会にしていくためにも、議会との意見交換会へのお申込みよろしく願います。



神河町議会の歩み

- | | |
|-----------|---|
| H17.11. 7 | 神河町発足
(神崎町と大河内町が合併)
合併在任特例(定数26人) |
| H17.11.14 | 第1回神河町議会(臨時会)を開催 |
| H18. 4.23 | 神河町議会議員選挙(定数16人) |
| H22. 4.25 | 神河町議会議員選挙(定数14人) |
| H24.12.13 | 神河町議会基本条例制定 |
| H26. 4.20 | 神河町議会議員選挙(定数12人) |
| R 3. 3. 2 | 第100回神河町議会定例会を開催 |

山名町長の新型コロナウイルスワクチン接種 「神河町政に対する信頼回復を求める申入書」を提出



5月13日の神戸新聞朝刊等に掲載された山名宗悟町長の新型コロナウイルスワクチン接種について、その後のマスコミ各社の報道により、町民の町政に対する不安、不信任感を抱かせたことは誠に遺憾であります。

町長のワクチン接種について町民からは、神河町政を担う責任者として賛同される多くのご意見がある一方で、マスコミの取材に対して当初は嘘をつかれたこと、事前に公表されなかったことや、ワクチンの確保が困難で予約を中断されている状況の中で、キャンセル分とはいえ65歳以上の基礎疾患のある方などの優先分を接種されたことなどに

対する批判が多く寄せられました。二元代表制の一翼を担う神河町議会は、5月13日午後緊急の全員協議会を開催し、町長から説明を受け事実確認を行いました。その後の全員協議会における意見を踏まえ、神河町議会として町長に対して「申入書」①を提出しました。

6月4日付けで町長から「回答書」②が提出され、6月21日、25日に全員協議会を開催し、その内容について確認と協議を重ねました。

町長が接種を受けるに至った経緯の中で、ルール違反ではないとする根拠資料(河野大臣記者会見要旨③)が25日によりやく示されました。当時は明文化された町のルールはなかったものの、その根拠はおおむね理解できました。

マスコミ取材の際に、接種の事実と根拠資料が明確に示されていれば、あのような騒ぎにならなかったのではと推察します。

このたびのことを反省点として、リスク管理・危機管理意識をさらに高めた行政運営を強く望みます。

① 神河町政に対する信頼回復を求める申入書

【令和3年5月25日】

1. 神戸新聞社の取材に対して真摯に対応せず、ワクチン接種の事実を否定したことが、事態を悪化させたことは明白であり弁明の余地はない。猛省を求める。既存のマスコミ対応マニュアルに照らし合わせ、反省点を議会に対して示されたい。
2. 接種を待ち望んでおられる高齢者が多くおられる中、町長は事前に公表して接種すべきであった。町長が接種を受けるに至った経緯を明確にするともに、ワクチン接種におけるキャンセル発生時の対応について、当該ワクチンの有効活用のルール(優先順位等々)を明確にし、公表されたい。
3. この度の事態に至った経緯を今一度検証し、町民や議会からの意見を真摯に受け止め、透明性のある行政執行を行い、神河町政に対する信頼回復に不断の努力をされたい。

② 回答書【令和3年6月4日】

1. 神戸新聞社の取材に対しての対応
経緯につきましては、5月13日の町民皆様へのお詫び放送のとおりであり、一度は誤った回答をいたしました但直ちに訂正させていただきます。しかしながら、結果としてマスコミの報道のとおり事態を悪化させたことにつきましては弁明の余地はございません。なお、すべてのマスコミ取材については、誠意をもって対応させていただいております。
2. キャンセル時のワクチンの有効活用ルール
キャンセル時のワクチンの有効活用については、5月25日の防災行政無線放送等でお知らせしましたとおり、会場までの距離、年齢等を考慮しながら順次ご案内させていただいております。なおリスト作成にあたりましては、予約曜日と同一曜日で登載させていただいております。
3. 信頼回復に対する不断の努力
あらためて町民皆様や議会からの意見を真摯に受け止め、引き続き、公平・公正・そして、透明性のある町政運営をお約束申し上げます。

最後に、一日も早いコロナの収束、町の元気回復、そして町民皆様の安心安全に向けてしっかりと取り組んでまいります。

③ 河野内閣府特命担当大臣記者会見要旨(抜粋)【令和3年4月13日】

高齢者の接種の中で、余ったワクチンが若干ではありますが廃棄されることがあったようでございます。余ったワクチンが廃棄されないようにという事はお願いしてまいりまして、できれば接種券を持っている高齢者がいけば打っていただき、接種券がなくても年齢的に対象になる方がいけば打っていただき、高齢者がいらっしやなければそれ以外の方という、できればそういう順番で対応していただきたいと思っております。他市・他県の方でも一向に構いません。全く制約はございませんので、ワクチンが破棄されないように現場対応でしっかりと打っていただきたいと思っております。

6月 定例会

第101回定例会は、6月11日から25日までの15日間の会期で開催されました。

仮議長の選任を議長に委任する件の審議の後、各委員会報告、諸報告に続き、町からは報告4件、専決6件、人事案件1件、条例の一部改正4件、財産処分2件、契約1件、補正予算9件の計27件が提案され、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり承認、可決しました。

また、一般質問は3人の議員が行いました。今回の定例会も、新型コロナウイルス感染症予防対策のため傍聴は控えていただき、ケーブルテレビ中継での視聴をお願いしました。

仮議長の選任を議長に委任する件

議長が病気療養中で、今定例会は副議長が議長の職務を行いました。この状況で議長の職務を行っている副議長も急病など「事故があるとき」に該当する事態になった場合に備えて、仮議長を決める必要があり、議会は、仮議長の選任を議長に委任しました。議長は仮議長に安部議員を指名し、承諾を得ました。

① 〔専決処分の件〕

令和3年2月7日に、峰山高原リゾート出入口ゲートでリゾート従業員が運転する車(町所有)が、

停車している相手車に追突したもので、対物事故として45万4000円で示談が成立しています。

繰越額は1496万4000円です。

す。主に文言や特例期間延長の改正です。

④ 〔令和2年度兵庫県町土地開発公社の事業報告の件〕

本事業は、兵庫県下12町から委託を受けて、公共用地の取得等の事業を行うものですが、令和2年度は新たな土地の取得等はありませんでした。

② 〔手数料条例の一部改正〕

国の介護報酬改定により、介護予防支援費等が改正されました。要支援1及び要支援2について1か月4310円が4380円に改正されたもの等です。

感染症の影響により、主たる生計維持者の所得金額の減少の場合、介護保険料の納期限が1年延長されたものです。

② 〔一般会計予算繰越明許費の件〕

令和2年度から3年度へ12事業(工事)の繰越がありました。その額は3億9524万2000円で、主なものは、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業、地籍調査事業、橋梁長寿命化修繕工事等です。

⑤ 〔令和2年度一般会計補正予算(第11号)〕

特別交付税、観光施設改修工事費、財政調整基金繰入金等の増減により、1182万3000円を追加し総額を101億9408万2000円としたものです。

③ 〔国民健康保険税条例の一部改正〕

新型コロナウイルス感染症の影響により、収入減の場合、国民健康保険税の納期限が1年延長されたものです。

⑥ 〔令和3年度一般会計補正予算(第1号)〕

まん延防止等重点措置による、県からの飲食店等営業時間短縮要請による感染症拡大防止協力金258万1000円を増額、総額が77億6258

報告(4件)

③ 〔下水道事業会計予算繰越の件〕

統廃合管渠布設工事(上小田処理区・南小田処理区)において追加工事により、工事日数が増加したことによる繰越で、

① 〔税条例等の一部改正〕

地方税法等の一部改正が令和3年3月31日に公布され、4月1日から施行されることに伴い町税条例も改正されたもので

④ 〔介護保険条例の一部改正〕

新型コロナウイルス感染症

④ 〔介護保険条例の一部改正〕

新型コロナウイルス感染症

万1000円となりました。

令和3年4月30日付けの専決処分です。

中播公平委員の選任の件

中播公平委員会は郡内3町で共同設置されています。今回同意を求められたのは市川町の尾花哲也氏で任期は令和7年6月30日までの4年間です。町執行部からの提案に対し、全会一致で選任に同意しました。

なお、現在、神河町から谷口勝則氏、福崎町から中塚保彦氏が就任されています。

条例の一部改正（4件）

① 手数料条例

マイナンバーカード再交付手数料は、今後地方公共団体情報システム機構が徴収することになり、当町の手数料規定から削除されるものです。

② 家庭的保育事業等の

設備及び運営に関する基準を定める条例

厚労省令が一部改正されたことに伴い、諸記録の作成・保存が書面に代えて電磁的記録も可能になります。今のところ郡内には該当事業所はありません。

③ 国民健康保険条例

新型コロナウイルス感染症を規定した法律名部分改正されました。これに関連した傷病手当金支給の適用期間が6月30日から9月30日までに延長されます。

④ 病院事業の設置等に関する条例

公立神崎総合病院の診療科目の変更です。新たに「消化器内科」「血管外科」「皮膚科」が追加され、「肛門科」「東洋医学科」が廃止されました。また、呼吸器科を呼吸器内科に、循環器科を循環器内科に、胃腸科を胃腸外科にそれぞれ改正されました。

財産処分の件（2件）

① 旧川上小学校と幼稚園の土地・建物

令和3年6月11日から令和13年3月31日までの間、土地は有償、建物は無償で貸し付けるものです。貸し付け相手は株式会社BugMo（バグモ）で、自動養殖システムの研究開発、食用コオロギの養殖・加工を目的として活用するものです。養殖したコオロギを乾燥粉末等に加工し、販売される予定です。



旧川上小学校

② 旧ゆめ花館建物

公立神崎総合病院の東側のプレハブ平屋建て68

04㎡を令和3年6月11日から令和6年3月31日までの間、無償で貸し付けるものです。貸し付け相手は、特定非営利活動法人ゆめ花館で、生きがい・居場所づくりと介護予防を目的とした高齢者の活動施設として活用するものです。

消防ポンプ自動車取得の件

平成8年配備後25年を経過する大山分団吉富部の消防ポンプ自動車を更新されます。型式はCD11型です。契約金額は1903万円。(有)西垣消防器具製作所(朝来市)が落札しました。



消防ポンプ自動車 (CD-1 型)

令和3年度一般会計補正予算（第2号）

今回は、歳入・歳出それぞれ1億59万6000円を追加し、総額を7億6317万7000円とするものです。

歳入は、国庫支出金、県支出金、町債等が増額となり、財政調整基金繰入金が減額になっています。

歳出は、子育て世帯生活支援特別給付金、橋梁補修設計委託料、機能的野菜6次産業化事業補助金等が増額となり、消火費(消防操法訓練大会の中止)、教育費(人件費・愛ひょう会神河町大会の延期)等が減額になっています。

議案等の審議結果

◆全員賛成で可決・承認した議案等◆

報告番号	件名
第2号	専決処分の報告の件(交通事故に係る損害賠償の額の決定及びその和解)
第3号	令和2年度神河町一般会計予算繰越明許費に係る繰越計算書の報告の件
第4号	令和2年度神河町下水道事業会計予算に係る繰越計算書の報告の件
第5号	令和2年度兵庫県町土地開発公社の事業報告の件

議案番号	件名
第66号	専決処分をしたものにつき承認を求める件(神河町税条例等の一部を改正する条例)
第67号	専決処分をしたものにつき承認を求める件(神河町手数料条例の一部を改正する条例)
第68号	専決処分をしたものにつき承認を求める件(神河町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)
第69号	専決処分をしたものにつき承認を求める件(神河町介護保険条例の一部を改正する条例)
第70号	専決処分をしたものにつき承認を求める件(令和2年度神河町一般会計補正予算(第11号))
第71号	専決処分をしたものにつき承認を求める件(令和3年度神河町一般会計補正予算(第1号))
第72号	中播公平委員会委員の選任の件
第73号	神河町手数料条例の一部を改正する条例制定の件
第74号	神河町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件
第75号	神河町国民健康保険条例の一部を改正する条例制定の件
第76号	神河町病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定の件
第77・78号	財産処分の件
第79号	神河町消防団大山分団吉富部消防ポンプ自動車の取得の件
第80号	令和3年度神河町一般会計補正予算(第2号)
第81号	令和3年度神河町介護療育支援事業特別会計補正予算(第1号)
第82号	令和3年度神河町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
第83号	令和3年度神河町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)
第84号	令和3年度神河町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
第85号	令和3年度神河町訪問看護事業特別会計補正予算(第1号)
第86号	令和3年度神河町水道事業会計補正予算(第1号)
第87号	令和3年度神河町下水道事業会計補正予算(第1号)
第88号	令和3年度公立神崎総合病院事業会計補正予算(第1号)

用語紹介コーナー

「専決処分」とは

議会が議決しなければならぬ事項について、議会を招集する時間的余裕がない緊急を要する場合などに行政運営の遅れや滞りを防ぐため、町長が議決に代わり意思決定することをいいます。

専決処分の後には、議会に報告し承認を求める議案の提出が必要です。

委員会の活動

人権文化推進特別委員会

5月24日開催

教育委員会

人権啓発活動事業は、神河町人権文化推進協議会を主体に、行政部会・学校園所部会・社会団体部会・調査広報部会を取り組んでいます。5月11日に予定されていた協議会総会は、新型コロナウイルス感染症の影響で書面決議となりました。毎年実施の地区別人権教室・人権啓発ポスター・標語・写真・文集の募集、人権教育実践発表などの事業は、可能な限り開催できるように努めるとのことです。

新型コロナウイルス感染症に関する人権侵害行為の防止に向けた新たな取組として、人権啓発チラシ臨時号の新聞折り込み、児童・生徒の保護者

に向けた啓発資料の配布を行いました。今年度も継続して取り組む予定です。

Q 地区別人権教室をコロナ禍でも開催できるように、ガイドラインを示してほしい。「自己判断で…」が一番困る。

A ガイドラインを課内で検討し、良い形で開催できるように努める。

住民生活課

神河町の本人通知制度の状況は、本年5月7日現在の登録者数は680人、登録率は6.18%です。本人通知件数は267件で、法人の第三者請求(業務上のもの)43件、個人の第三者請求25件、八土業(司法書士等)168件、本人の代理請求31件です。本人への通知に対する開示請求は44件ありました。

郡内他町の登録者数は、市川町281人、福崎町191人です。

常任委員会は、3か月ごとに各課事業の進捗状況と重要事業の調査をしています。

総務文教常任委員会

5月21日開催

教育課

学校通信ネットワーク整備事業(GIGAスクール)は、令和2年度でパソコンやタブレット等の機器と校内通信ネットワークの環境整備が完了しました。本年度は、活用に向けての教職員研修やソフト導入の検討・協議に加えて、タブレットを家庭に持ち帰ってのリモート授業に向け、WiFi環境の確認、機器の貸し出しなどの規定の整備等に取り組みます。

学校給食の異物混入は、令和2年度に17件発生し、内訳は給食センター調理分が6件、パン・炊飯等の委託先が11件です。以前から立ち入り検査を実施していたパン納入業者

の4月以降の異物混入はありません。

また、食育推進策としての地場産野菜の使用状況は、37.6%(対前年9.4ポイント増)です。

令和7年度に刊行予定の神河町史は、大河内保健福祉センター2階に編さん室を設け、学芸員2名と会計年度任用職員2名の体制で編さんに取り組みます。



町史編さん室

税務課

収納率向上のために取り組んでいる口座振替による納税は、税全体で46.5%(対前年1.1ポイント増)となっています。一方で、

クレジットやコンビニ納付が増えているので、本年度は更なるPRとスマートフォン決済サービスの導入の検討を行います。

会計課

令和3年4月末の現金等保管総額は、50億7642万9759円です。

4月末時点の一時借入金金は6億円、一時預貯金は3億円です。5月21日現在では、一時借入金金が4億円、一時預貯金が2億円となっています。

指定金融機関であるJA兵庫西から、事務取扱手数料を現行の年70万円から、令和4年度は275万円に、令和5年度以降は518万1888円に引き上げる旨の申し出がありました。金融機関を取り巻く厳しい状況や、総務省から地方公共団体宛てに収納業務の経費負担の見直しを促す通知もあり、現段階ではこの申し出を受け入れざるを得ないと報告を受けました。

総務課

廃校となった学校の跡地活用について、旧越知谷小学校は、4月1日に但馬米穀(株)と契約を締結し、5月中旬から備品の搬入等を行っています。

旧地域交流センターは、ゲートウェイアジア合同会社が外国人実習生の受け入れ態勢を整えています。新コロナウイルス感染症の影響を受けて、実習生が入国できない状況です。旧大山小学校は、地元4区長と公園整備に関して協議を行っており、9月末完成の予定です。

旧川上小学校は、(株)BUGMO(バグモ)から食用コオロギの養殖・生産システムの研究開発、加工品の研究販売等で活用する計画の応募があり、地元川上区での協議の結果は、受け入れる方向になりました。

行政デジタル化の取組として、押印廃止に向けた町の例規整備を業者に業務委託しています。押

印廃止となった場合の本人確認をどのように行うか、本年度調査していきます。

行政IT化整備事業の1つとして、ペーパーレス化やリモート会議等を行えるよう、全議員にタブレットを配付する予定です。機器の設定を7月中に完了し、使用するための研修会を8月に予定しています。

Q 本年度のブロック別自治協議会に取り組みという提案は唐突だと思う。どのような理念で、どのような仕組みをつくるのか。

A 地域で困っていることを解決する一つの仕組みである。地域課題をまちづくり計画として作成し、その解決のために人を配置し財源の確保を行い、地域全体で取り組んでいただく組織体である。

5月26日開催

公立神崎総合病院

Q 訪問看護事業の決算で、令和元年度の繰越金が2807万円、2年度の繰越見込み額が192万円、差額として約1600万円の減である。利用者数、利用回数はずごく増えているのになぜこういう結果になるのか。

A 精査した結果、4・5月の収入見込み額が1716万円、支出見込み額が383万円。これらを含めると令和2年度の繰越金は約2500万円になる見込みである。

健康福祉課

Q ワクチン接種の予約受付が延期になった原因は。

A 要望していたワクチン数が届かず2回目の接種分を確保することが難しいため延期せざるを得なかった。



を得なかった。

Q 64歳以下の方は、平日のワクチン接種予約及び接種は厳しいと思うが、対策は。

A 若い世代については、ネット予約、ライン予約を採用し、電話予約と併用する。

A 若い世代は仕事等の関係で土・日接種の希望があると思う。土曜日午前中診察の医師もおられる中、全ての日曜日を接種日にするのは難しい。1時間もあれば接種できるので、人間ドック受診のように年に1回は平日に休みを取って自分の体を守るということを考えていただけないか。

Q ワクチン接種の担当課が健康福祉課だけという考えではなく、課の垣根を超え役場が一体となり、全職員にアイデアを募って、町独自の若い世代へのスムーズなワクチン接種策を打ち出してほしい。

A 管理職会議での議論と合わせ役場全体の中で考える機会をつくる。

Q 町長懇談会で町内7ブロックを回られている中で「地域自治協議会」の提案をされている。一方で「生活支援協議体」を各ブロックで設立協議中となっている。地域の困り事の解決というコンセプトは共通しているのですが、重複することにならないか。

A 生活支援協議体は福祉に軸足を置いており、地域自治協議会もつと幅が広いものである。地域自治協議会には、予算をつける提案をしている。地域自治協議会の中で福祉的な要素も取り組

むということであれば、生活支援協議体の設立は強要しない。

住民生活課

Q 大阪湾の広域臨海環境整備センター事業で、令和2年度を含めて以降の第3期計画は委託しないとされているが内容説明を。

A 大阪湾フェニックス計画は、近畿一円の市町が負担金を出し合い、大阪湾に瓦れき等処分場の埋立地を整備している。2期計画(令和14年度まで)に神河町も参加している。3期計画は令和15年度以降の計画で、ニガタケ処理場の運用を考慮し、参加しない判断をした。

Q この事業の令和3年度の負担金が123万4000円で令和14年度まで払い続けると1000万円以上の支出になる。何も利用していないのに1000万円以上の

負担金を払うのはいかなものか。

A 利用しなかった場合は還付があると記憶している。8月の委員会では今後の負担金について資料を作成し提出する。

上下水道課

Q 給水管の修繕工事、入れ替えしている管の耐用年数は何年か。また、材質は。

A 一般的に水道で使われている管の耐用年数は40年。管種はVP管、塩ビ管、ポリエチレン管などがある。補助事業で更新できるのは40年以上経過している管路である。そのほとんどがVP管で、一番漏水が多い。

産業建設常任委員会

5月12日開催

地籍課

地籍事業については、計画どおり順調に進捗しています。

Q 令和3年度から始まる山林部の未登記公共用地の登記整理について、具体的に教えてほしい。

A 現地調査は、地元の推進員に立会いをしていただくが、その際に意見を聞いて、公共適用の林道、作業道として扱ってほしいという物件があるのです、その土地を町に寄付してもらう手続きになる。

建設課

神崎市川支線は、工事が完了し、町道福山2号線として町道認定していきます。町道神崎・市川線は、3月25日に国道312号線貝野橋東交差点と

の接続調整工事が完成しましたので、令和3年4月1日に全線供用開始しました。

Q 信号の移設工事が終わっていると思うが、工事の進捗状況は。

A 信号機自体の移設は3月中頃に終わっているが、歩道の歩行者用信号がまだ設置されていない。今年度中の設置要望を出している。



歩行者用信号が未設置の貝野橋東交差点

地域振興課

Q ゆず太くんジュースの生産中止という話は本当か。

A ゆず太くん生産中止は事実である。農協の姫路本店で不採算部門という形になっており、継続が難しいと聞いている。

Q 去年2月末から現在までのサルの被害状況はどうか。

A サルの頭数が減っており、被害はあるが総体的には減っていると考えている。

Q クマの出没が相次いでいるが、学校近くでの出没の場合の体制や地元への注意喚起に関する約束事、仕組みはあるか。

A 現時点ではマニユアル等は作成していない。その都度、必要なところに情報提供しているのが実情である。

ひとまち・みらい課

令和3年度の事業としてシングルマザー移住支援事業も含めて多自然居

住事業として1本化し、令和3年4月から移住・定住事業等を目的に新たに設立された一般社団法人リバーズランに業務委託することとしました。

Q 町はリバーズランに何を委託しているのか。

A 今まで町で行っていた空き家バンクも含めた移住・定住に関する業務を委託している。

《商工観光業務》

Q コロナ禍でも継続して安定してやっている観光施設という方針を考えていただきたい。

A 町として、しっかりした対策・方針で神河町に観光客を受け入れることによって、町の経済を活性化していく基本理念を持つてもらいたい。

ニンジングジュース

今後は、これまで行った以外の対策・方針も考えながら、神河町に来て楽しんでいただく、また住民にとっても、誇れるような施設になって



ニンジングジュース

いけるよう検討していきたい。

アグリイノベーション事業について

町が立ち上げた任意団体のアグリイノベーション神河の事業で取り組んできた「ニンジンジュース」が、町内外で好評販売できています。この取組をさらに拡大させることが、アグリイノベーション神河(株)の雇用確保、町の農業生産額の向上につながるかと考え、親会社である(株)KTSが建設する野菜等加工施設、並びに販路拡大事業を支援していきます。

みなさんの

声

を

町政に

一般質問 は、住民から重大な関心と期待を持たれるもので、議員が執行機関に対し、行政全般にわたる施策の状況や方針などについて説明・報告を求め、議員自らも政策提言を行い、政治姿勢を明らかにするものです。質問する議員は、町長に事前に質問内容を通告します。時間は質問、答弁合わせ1人1時間以内となっています。質問した議員それぞれが原稿を起こし、「議会だより」に掲載しています。(1人1ページ)

今回の登壇者は3人でした。

ページ	質問者(登壇順)	質問事項	ケーブルテレビ再放送日
11	吉岡 嘉宏 議員	①デマンド交通の今後の見込みについて ②山名町長の4期目の出馬はどうされるのか	8月3日(火) 午後7:00~
12	栗原 廣哉 議員	①神河町生活安全条例に基づく、安心安全に対する神河町の取り組み状況 ②神河町における防災士の育成状況	8月3日(火) 午後8:00~
13	小島 義次 議員	①ヤングケアラーの実態と対策は? ②GIGAスクール実施の確実な取組を	8月4日(水) 午後7:00~

主な議会日程

8月
10日(火) 産業建設常任委員会
16日(月) 民生福祉常任委員会
18日(水) 総務文教常任委員会
27日(金) 議会運営委員会

9月
2日(木)・3日(金)
6日(月)・7日(火)
第102回定例会
(提案・質疑等)

9日(木) 総務文教常任委員会
(付託議案)

13日(月)・14日(火)
決算特別委員会

16日(木)・17日(金)
定例会(一般質問)

29日(水) 定例会最終日(採決)

※この日程は変更となる場合があります

本会議等の傍聴について

新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、しばらくの間、本会議等の傍聴については、できる限りお控えいただくようお願いいたします。

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

◎デマンド交通の今後の見込みについて
◎山名町長の4期目の出馬はどうされるのか



吉岡 嘉宏 議員

○デマンド交通の今後の見込みについて

Q 昨年9月～11月の長谷エリアでの社会実験の結果と課題は。

A 長谷エリア内限定で自宅からふれあいマーケットなどの施設まで送迎し、乗車人数は延べ85人、実質利用者は14人。利用者アンケートでは長谷エリア外の施設に行くにはコミバスの乗り換えが必要であり、そこが不便という声が多かった。



デマンド型乗車タクシー

Q コミバスへの乗り換え無しの完全ドアツードア（戸口から戸口まで）の社会実験を今度

神崎エリアのどこかの地区ですればどうか。

A 検討する。

Q 令和3年度からの具体的な取組は。

A 自治体の公共交通政策にも携わっており、立命館大学の井上先生に入っていたいただき、コミバス運行計画検討委員会等の声も聞きながら検討する。例えば①コミバス路線は残し、介護の必要な人だけに出しているタクシーチケットの拡大でドアツードア分を考える。②神姫グリーンバス粟賀営業所、公立神崎総合病院、JR寺前駅、JR新野駅を拠点としこれらを結ぶ路線だけをコミバス環状線として運行し、越知谷、大山、小田原、及び長谷の各方面から各拠点までをコミバス路線から全て予約制によるデマンド乗合便に切り替えていくなど、令和3年度中に一定の方向性を出したい。

ドアツードア（戸口から戸口まで）のサービスは高齢者、免許証返納者に対し必要不可欠と思うが、町の考えは。

A 免許証返納者にとって使い勝手の良い移動手段を考えていく。高齢者等でバス停まで歩くのが大変な方には障がい者で1, 2級等の方へのタクシー助成制度などがある。

Q たつの市では本年度から高齢者お出かけ支援制度を設け、75歳以上なら障がい者手帳がなくともタクシー利用の助成が受けられるようになった。参考にしてほしい。

A 参考にする。

○山名町長の4期目の出馬はどうされるのか。

Q 誠実で一生懸命の山名町長に11月の町長選に出馬してほしいがどうか。

A 引き続き町政のかじ取り役を担わせていただきたく決意をここに表明する。第2期神河町人口ビジョンでは2050年には人口60000人台になる。持続可能な町づくりをしていくためには、町の87%を占める山林と農業の再生が欠かせない。そのためには30年、50年先を見据えた写真真が必要。2050年神河ビジョン（仮称）を作成していきたい。短期・中期的政策としては第一に新型コロナウイルス感染症の一日も早い終息、ワクチン接種の早期完了とポストコロナ時代に対応した経済循環拡大政策が必要であり、そのためには町政の継続は欠かせない。

ひとこと

バス停まで歩けない方をどう支援するかの視点が重要。障がい者手帳1, 2級の方への福祉制度だけではカバーできないのでしっかり議論を。

神河町生活安全条例に基づく、 安心安全に対する神河町の取り組み状況



栗原 廣哉 議員

町長

交通安全意識の普及啓発や交通安全教育の実施、また、犯罪に遭わないための注意喚起や防犯意識の啓発事業など、町民の安全意識の高揚に向けた取り組みを実施している。

Q この条例が「安心・安全」の根拠法として間違ったのか。

A 神河町生活安全条例の目的のとおり、神河町の安心・安全の根拠法令であると認識している。

Q 神河町に消費生活センターは無いが不便ではないか。

A 神河町の中で受け付ける範囲でお答えしているが、複雑な事案に関しては、神崎郡消費生活センターのほうに確認していただいている。

Q 特殊詐欺の特徴は。

A 高齢者を狙い固定電話に架電してくることである。

Q 特殊詐欺対策として、昨年、兵庫県警が配布した簡易型自動録音機を独居老人宅や高齢者帯等に配布してはどうか。

A 簡易型自動録音機は、警察署を通じて一部の高齢者には配布されており、また県の事業としても一部住民に配布されているが、町内全ての高齢者世帯ではないので、簡易型自動録音機の配布を町独自の事業として進めることはできないか、対象者を含めて予算化について財政部局と検討していきたい。

A 録音機1台当たりの価格も非常に手ごろな価格設定になっているので、財政担当とも協議をしながら、神河町の世帯数も含めて、今後考えていきたい。



簡易型自動録音機

神河町における防災士の育成状況

町長

若者人口の減少による防災力の低下が危惧される中、防災知識と技能を生かし、防災・減災活動に主体的に行動をしていただく防災士などの防災リーダーの育成は重要であると認識している。

は本年5月末の時点で、20名であり、前回の報告から3名増えている。

Q 防災士の育成に対する取り組みが消極的ではないのか。

A 新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言の発令もあり、昨年に引き続き、自主防災会が書面決議になるなど自主防災組織の活動が十分にできていない。地域防災力の強化、向上のため、改めて防災士の重要性や役割について一般の方も含め幅広く周知させていただき、防災リーダー育成に取り組んでいく。

ひとこと

この度の質問は、元職に関する分野での質問でしたが、町行政の疑問を分かりやすくするために、ピンポイントの質問を心がけますので色々な話をお聞かせ下さい。

Q 令和元年12月以降の全国と神河町の防災士の人数は。

A 現在、全国では約21万人の登録があり、前回の報告から3万人以上が新しく防災士として活躍されている。神河町

Q ヤングケアラーの実態と対策は？



小島 義次 議員

町長

実態把握とともに適切な支援の方策を県・関係機関とも連携しながら検討していく。

Q 家族の介護やケアを担う18歳未満の子ども(ヤングケアラー)の人数、状況等について調査したことはあるか。

A 健康福祉課特命参事 県から依頼された実情調査の回答として、当町ではヤングケアラーの該当者はなかった。民生委員の調査では、共働きの家庭で、親の帰宅が遅いときに兄弟の面倒をみる児童が2人あったが、該当ではなかった。学校でも児童・生徒の様子を観察し、ヤングケアラーの兆候がないか把握している。早期発見に努め、相談体制や見守り体制の強化を図っていききたい。

Q 新型コロナウイルスの波が過ぎても経済の回復は難しいと考えられる。その影響も視野に入れ、支援となるセーフティネットの方向性は？

A 健康福祉課特命参事 国の「ヤングケアラーの支援に向けたプロジェクトチーム」の報告書

には方向性が示されており、相談しやすい窓口や適切な関係機関につなげる体制づくりを構築することが必要であると考え

る。

Q 早期発見、把握の方法、支援策の推進、関係機関との連携等も含め、施策を進めるために「ケアラー支援条例」等の制定を視野に入れた取組の見解は。

A 町長 国のプロジェクトチームの報告書では令和4年度から3年間、「集中取組期間」としてヤングケアラーに対する国民への周知・啓発の推進等、対策が進められると推測する。多様な関係機関と連携を構築し、支援体制を整えていき、社会全体で支えていくことを肝に銘じている。

A 町長 国のプロジェクトチームの報告書では令和4年度から3年間、「集中取組期間」としてヤングケアラーに対する国民への周知・啓発の推進等、対策が進められると推測する。多様な関係機関と連携を構築し、支援体制を整えていき、社会全体で支えていくことを肝に銘じている。

GIGAスクール実施の確実な取組を

A 教育長 現在、タブレットを

活用した授業も行っている。学校と家庭をつないだオンライン学習も視野に入れ、活用方法を検討している。様々な課題があるが、条件整備を進め、今年度中に有効な活用ができるようにしたい。



タブレット

Q 児童・生徒の全家庭でインターネット環境やポケットWiFiの確実な作動の検証はできているか。

A 教育課長 昨年の調査であるが、インターネットにつながるパソコン等がない家庭は約11%、ネット通信の環境がない家庭は9%であった。携帯電話の通信エリアであればWiFiの作動は可能と考える。

Q 学校から送り出す通信速度、家庭でのデータ

ウンロード速度はいくらに設定されているか。

A 教育課長 学校からは1Gbpsで送受信、各家庭では3.2Mbpsで送受信する。双方向の通信が可能なのは100人程度である。6月9日に神崎小学校と寺前小学校の6年生120人でテスト授業をしたが良好であった。本格実施では授業時間割り振り等の調整が必要である。

Q インターネット料金の負担、セキュリティ対策等、運用上の整備の方向性は。

A 教育課長 ネット通信料は個人負担の方向で検討している。IDやパスワードは管理上一定の学年以上での使用とする。機器活用のルール作りも含め、本年度に整備していく。

ひとこと
先を見通した
確かな取組が
大事

まちかどインタビュー

第5回



取材日：5月30日

第5回は、将来の夢に目を輝かせているお嬢さんに話を聞きました。

自己紹介をお願いします

産まれてから今まで19年間神河町で暮らしています。三姉妹の末っ子です。今は保育士の夢を持ち、短大で勉学に励んでいます。



藤原 綺女 さん (山田)

神河町をどう思うか、望むことは

交通整備や街灯の設置
 コロナワクチン接種を早く進めてほしいです。

良いところは

コロナワクチン接種者が移動していたら、迅速に動けない人や転倒の危険があります。医師が移動していく方法に思いやりを感じました。良いところは迅速に取り入れることが大事だと思います。

改善すべきことは

若者の意見が反映されていないところ。

町長のワクチン接種は報道されましたが、町民皆が反対しているとは思いません。残ったワクチンをどのようにして無駄なく打つかを考えてなかったことに問題があると思います。どうすれば他市町より先行してワクチンを打てるようになるか意見を出し合い、町一丸となって、取り組んで

ほしいです。批判している暇はありません！

旧栗賀小学校跡地に公園・図書館等を建設予定だが、どんなことを望むか

何度も行きたくなる花咲く公園、宿泊と避難所を兼ねた図書館、地域スポーツの拠点となる思い出づくりができる体育館を望みます。



若者定住事業はどうすれば良いと思うか

街に出る若者が多いの

は希望する職場がない。優秀な企業誘致が大事。

若者向けの服や欲しいものを買えるお店、遊び場がありません。

婚活の場を参加しやすくして、積極的でない人も参加できるようにしてほしいです。

「大好き！私たちの町かみかわ」のキャッチフレーズをどう思うか

キャッチフレーズとしてはもの足りないです。ユーモアを含む口語文的にすれば記憶に残ると思います。

議会に望むこと

労働者や若者世代の声が届いてない。アンケートを取るなりして、一丸となって活動してほしい。ダメな政策はどこが悪いのか、どうしたら良くなるか。否定する意見は良く聞きますが、こうすれば良くなるという意見を出す人がいないのが残念です。

あとがき

今年も6月中頃から猪篠集落内の約8千株の紫陽花が色鮮やかに咲き誇り、多くの来訪者がありました。来年に向けて、7月に花落とし・挿し木、9月に草刈り、11月に挿し木、2月に施肥、4月に除草作業、6月に草刈りと、年間を通じた管理作業が行われます。紫陽花を観ながら、地域のみなさんのご努力に想いを馳せたいものです。行政の仕事も同様です。満足な成果を得るには、しっかりとした準備と的確な進捗管理が重要です。夏に向かって暑さが増していきます。マスクを外せない日々が続きますが、十分な水分補給や休息など体調管理にご留意ください。(S・S)

広報公聴活動調査 特別委員会

- 委員長 小島 義次
- 副委員長 吉岡 嘉宏
- 委員 藤森 正晴
- 委員 栗原 廣哉
- 委員 澤田 俊一